貴 13
3813
12

黃金水大盡百
十二編上之
爲永春水
芳幾重
甘泉
梓

為永春水作

上

黄金水大盡盃 二編

下

一恵齋芳幾画

甘泉堂梓

門 へ13
號 3813

十二編下

紀文の花街狂歳の夜ふ金を蒔〳〵と言へる吏ハ物の本にも粗見えて見べ。這ロ画ハ文左が一期乃栄花ハ知ら是ん。實に百萬の貨を遊戯ハ果せるもの。古今ハ比類まれある筈ハ無し。今その傳記を編ハ手も薄き冊子ハ数ハ多いはゞ佳境ふいるの僕ハ緯ハ掌稿後まで。扨に塵をおく日をかさねて。嗣輯ハ筆採そろえ。相もかわらず笑覧に備ふ

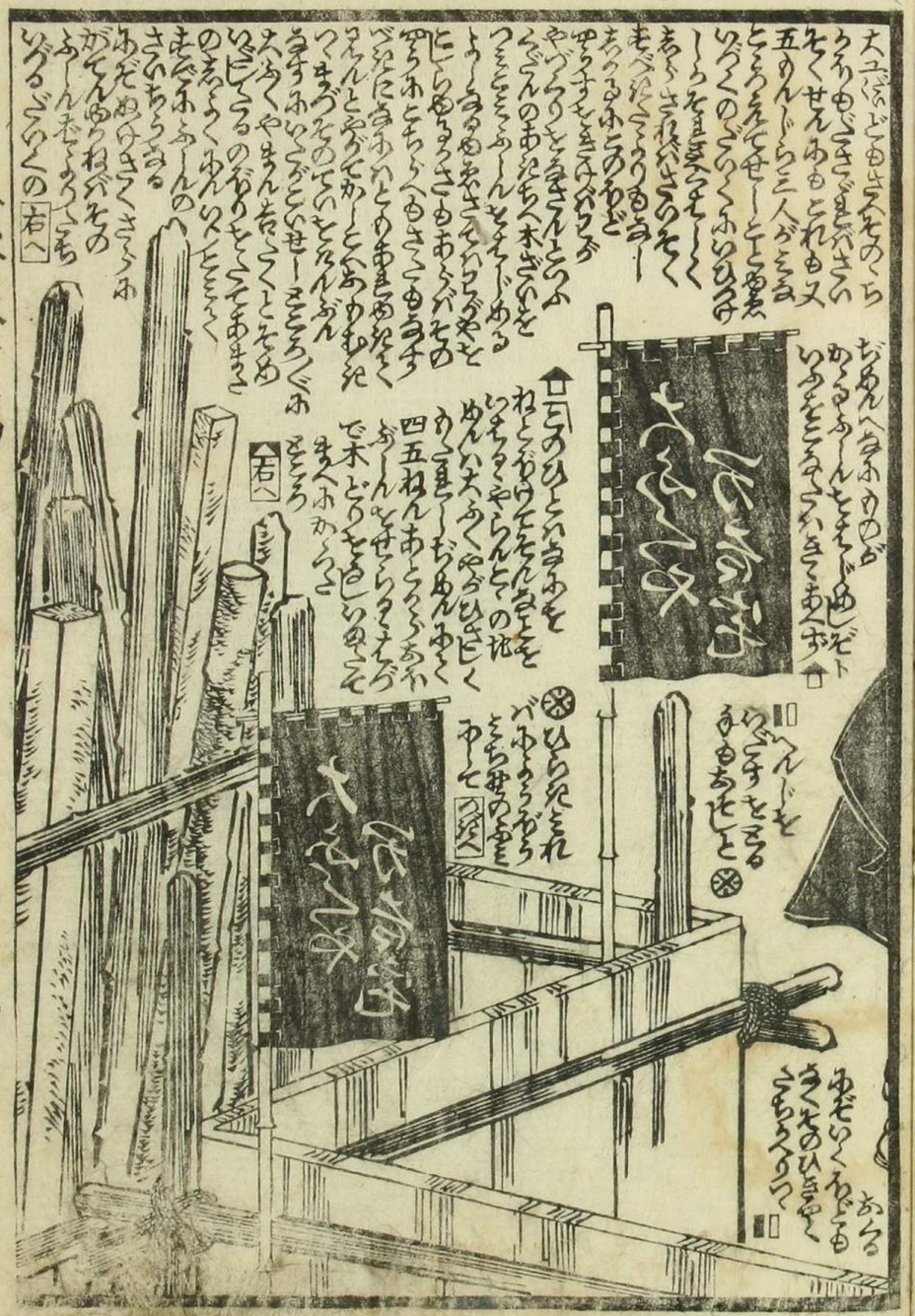
文久二年
戌の孟春

爲永春水記

紀文大盡

廓の節分に紀文黄金の追難する圖

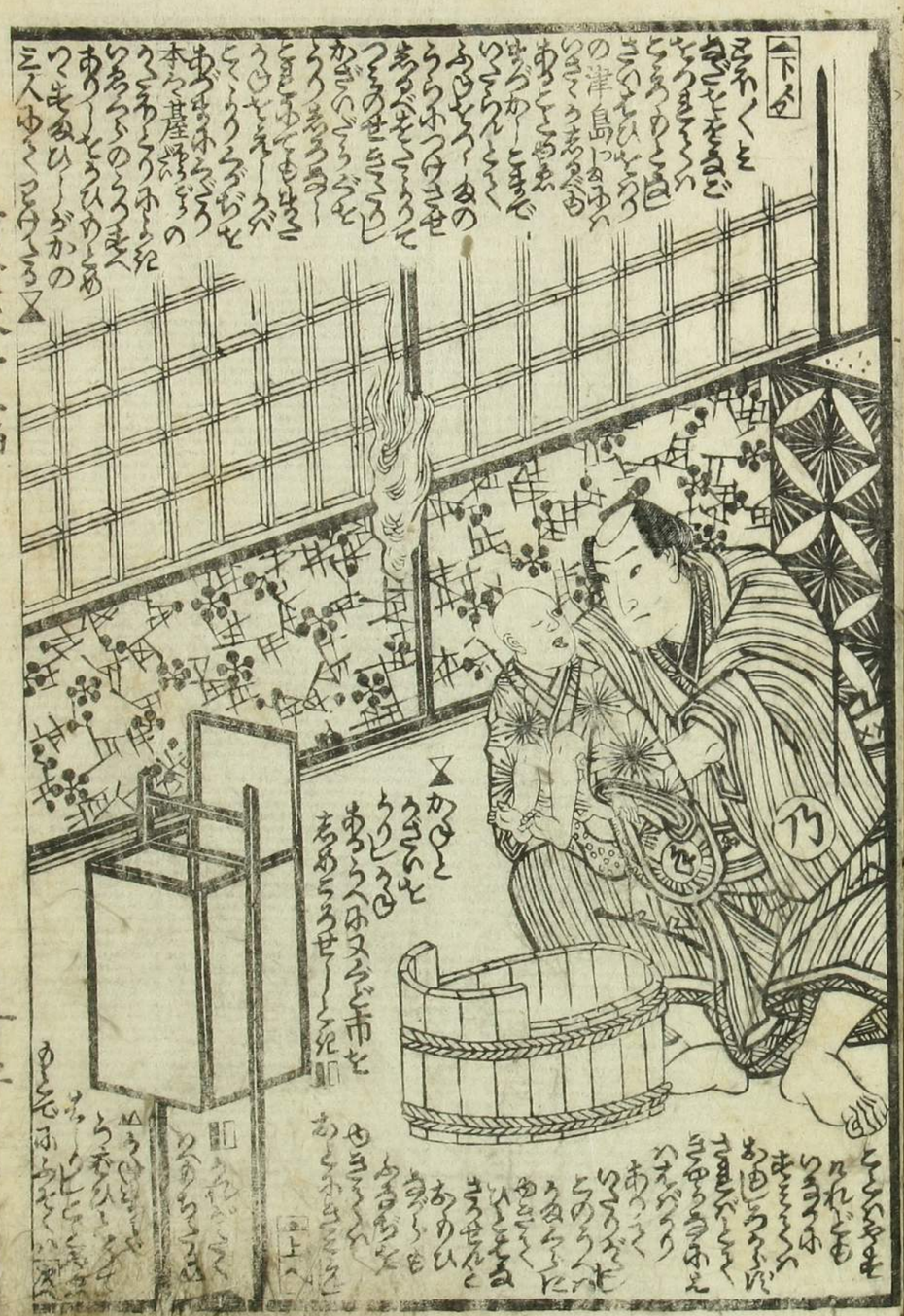
十二編のつゞき　これがまつ



抜

芳幾畫
春水作

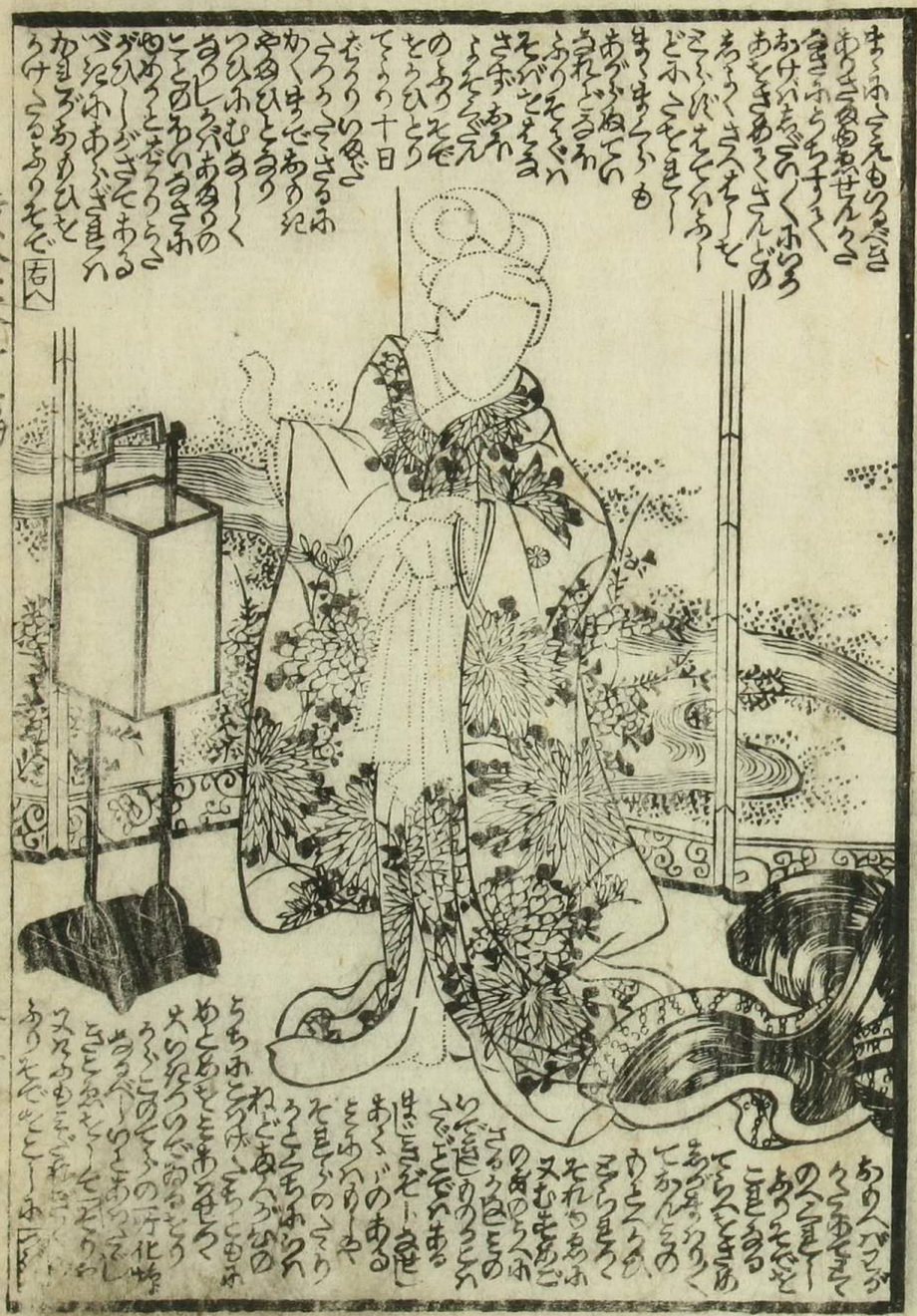
兒雷也豪傑譚　三十七編　柳亭種彦作　勇齋國芳画
風俗淺間嶽　十一編　柳水亭種清作　勇齋國芳画
女郎花五色石臺　八編　柳下亭種員作　九編　勇齋國芳画
不思議塚小說櫻　初編　柳水亭種清作　勇齋國芳画



つゞき かゝる
ふいあそこぐ
さまざまこと
のうそう
くく
ら
た
十左ゑ門

十

愛と次の画の當八が物語ホ合せ



春水作 芳幾画

つゞき うみ〳〵きこう
ものこのごとくこゝにてハト
のくちばしをもつてくび
をまげるところ
このふうりうにきく
うりのそばへつく
うさぎさらにとらるゝ
とびたつふりをして
そこらをとびまはる
ものゝごとく ▼

朝鮮牛肉丸 大包金二朱 中包金一朱 小包百銅

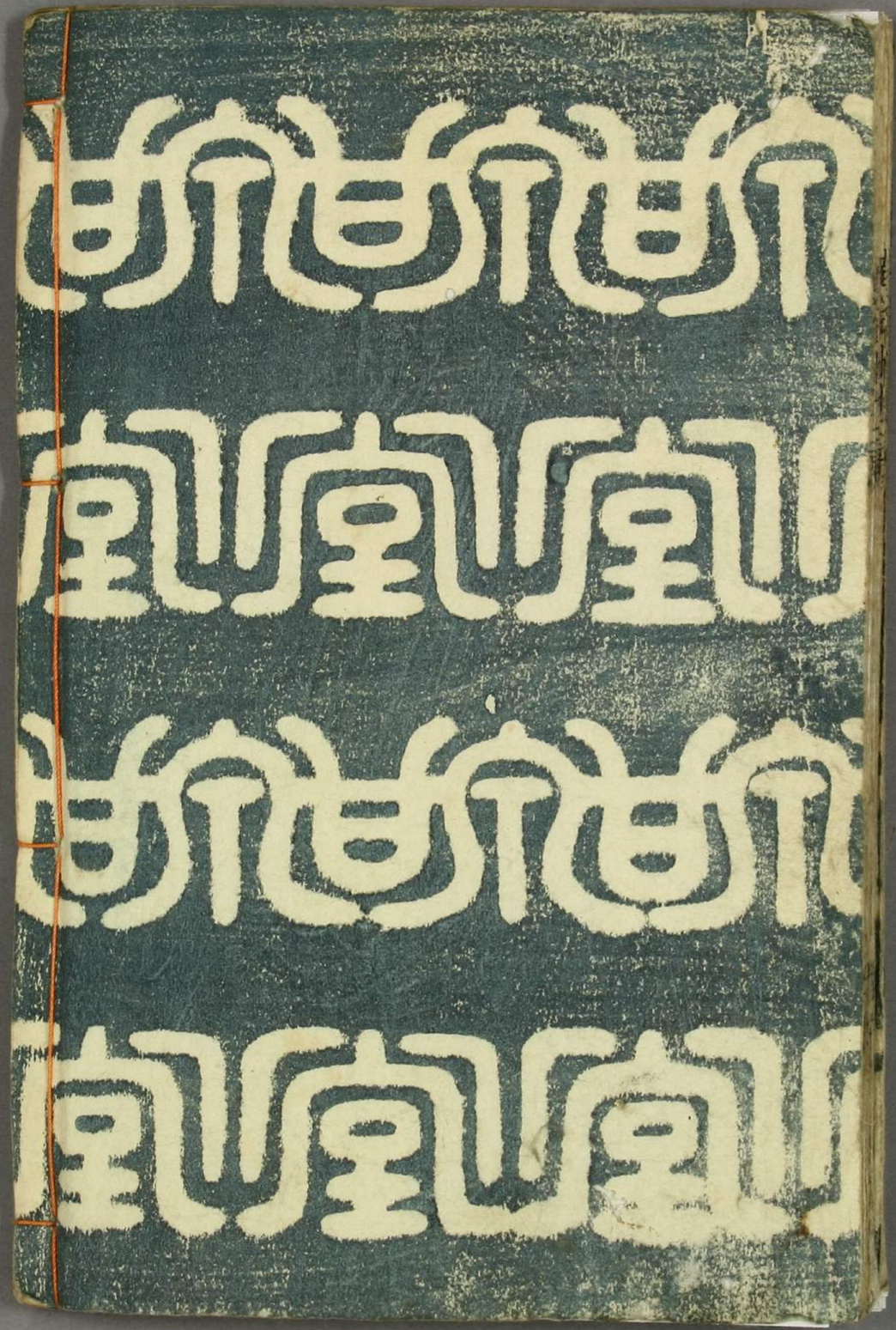
右の薬牧牛来和弘
処近比仰ふうの薬遣
おゐて多年名称被書
ふくく四枚以来のそれ
下谷さゝ井ぢ
製及
発売 深海氏製

▼のぞきからくり
ゆきさびしく
あばれ
のふうり
そこをヒューの◐

◐うへのうみ
うるところの
うんぞうこう兄
こゝにがその
さう思いのとも
のうちゆきこう
ひさしくあこ
まて五りん次が
ふうりねこる
そこらさのの
ふうりへ
それもこゝそ
とうそもりふ
ところもあと
うえあられ
てとがも
うろうろ
○ここねんく
りそ五りん法
ごのうへ
ヌそ色あり
つひふりん
ごとのめぐり
あふうろ色こ
さろく文化ろ
ふうこびめぐこりの
ぐうりふろうそい
次のへんそえそらん
めぐこ〳〵〳〵
〳〵〳〵

忠臣貞婦 伊呂波文庫 五編 六編 七編 柳亭種久作 一勇齋國芳畫

黄金水大盡 十一編 十二編 十三編 為永春水作 一勇齋國芳畫

假名反古 一休さんし 十三編 十四編 十五編 柳下亭種員作 一勇齋國芳畫

地本錦繪 草紙問屋 甘泉堂 芝神明前 和泉屋市兵衛